

■(藤原)俊成卿女 歌人。藤原俊成の子孫。後鳥羽院歌壇で活躍、式子内親王・宮内卿と並ぶ三才女で、「無名草子」著者説。

しゅんぜいきょうのむすめ

平徳子入内・1171＝ この頃、尾張守中御門藤原盛頼生まれる。父は。母は藤原俊成の女八条院三条。

鹿ヶ谷事件・1177＝ 6歳：父盛頼が鹿ヶ谷事件に連座したため、妹とともに祖父俊成の養女となり、母とも離別。
以後、俊成嫡女と称され、大歌人の祖父俊成のに慈しまれて育ち、

源氏一斉蜂起1180＝ 9歳：この年、京都大火で俊成宅も類焼。

後鳥羽天皇・1183＝12歳：この年、後白河院から俊成に勅撰集の院宣があり、
・ ・ ・ ・ ・ 1184＝13歳：この年、平忠度が西国に落ち延びるに際し、俊成に歌を託す。
平氏滅亡・ ・ 1185＝14歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1188＝17歳：この年までの勅撰集の編集の手伝いなどで、歌心を磨き、
奥州藤原滅亡1189＝18歳：
源頼朝上洛・1190＝19歳：この頃、土御門内大臣源通親の子通具と結婚。

・ ・ ・ ・ ・ 1193＝22歳：寵愛してくれた祖母美福門院加賀が死去。
・ ・ ・ ・ ・ 1194＝23歳：長女を出産するが、

出世欲強い夫の間は次第に疎遠になり、

・ ・ ・ ・ ・ 1198＝27歳：この年、通具が和歌所寄人に補され
源頼朝没・ ・ 1199＝28歳：この年、通具は土御門天皇乳母按察局と政略結婚するも、
梶原景時征討1200＝29歳：なお、通具の子具定を出産。この年、実母が死去。この前後に成立した評論「無名草子」の著者であることが有力視されている。
・ ・ ・ ・ ・ 1201＝30歳：*式子内親王死去の年、通親家歌合に新参で出席し、圧勝。後鳥羽上皇に注目され和歌史上最大となる千五百番歌合の第三度百首に出詠し寂連と並ぶ好成績、和歌所撰歌合・岩清水歌合せで好成績、
・ ・ ・ ・ ・ 1202＝31歳：参院し、以後、式子内親王・宮内卿並ぶ三才女として、中心メンバーとなる。水無瀬殿恋十五首歌合。
執権政治始・1203＝32歳：千五百番歌合成立。和歌所影供歌合、八幡若宮撰歌合、
源頼家暗殺・1204＝33歳：春日社歌合、俊成が死去。
新古今集・ ・ 1205＝34歳：「新古今集」に29首入集し、その1首は院の指示で恋2の巻頭を飾る。
専修念仏禁止1207＝36歳：子具定が元服し、侍従となる。自宅が焼失。院発願の最勝四天王院障子和歌作者の一人。

北条頼権確立1213＝42歳：内裏当座歌合。出家、その後も順徳院内裏歌壇で活躍、
職人歌合・ ・ 1214＝43歳：内裏歌合。月卿雲客妬歌合。
榮西没・ ・ ・ 1215＝44歳：「内裏名所百首」などにも参加。
・ ・ ・ ・ ・ 1216＝45歳：和歌所歌合。以後、翌年にかけて出席が無いのは、父の死去によるものと考えられる。
・ ・ ・ ・ ・ 1217＝46歳：歌合。
・ ・ ・ ・ ・ 1218＝47歳：内裏和歌会后、再び途絶。

承久の乱・ ・ 1221＝50歳：*承久の乱により、境遇が一変。

北条政子没・1225＝54歳：

道元曹洞宗始1227＝56歳：*妹に続き、夫源通具が死去すると、嵯峨に隠棲。嵯峨禪尼と称するが作歌意欲は衰えず、
・ ・ ・ ・ ・ 1228＝57歳：藤原光経母の死去に際し、弔い歌贈る。

・ ・ ・ ・ ・ 1231＝60歳：法印覚寛勸進七十首に参加。
御成敗式目・1232＝61歳：日吉社撰歌会でも選ばれ、石清水若宮歌合では右方筆頭。洞院摂政家百首に入る。道家邸での歌合に出席。
伯父藤原定家が新勅撰集撰進を受けた際、家集「俊成卿女集」を自撰して贈り、
・ ・ ・ ・ ・ 1233＝62歳：長女が難産のため、死去。
金滅亡・ ・ ・ 1234＝63歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1235＝64歳：新勅撰集に入集。
・ ・ ・ ・ ・ 1236＝65歳：具定にも死別。

・ ・ ・ ・ ・ 1239＝68歳：この年、隠岐で後鳥羽院が死去。

・ ・ ・ ・ ・ 1241＝70歳：藤原定家も死去して、全くの孤独の身となり、播磨国越部庄に移住、
北条泰時没・1242＝71歳：この年、佐渡で順徳院が死去。
鎌倉大仏完成1243＝72歳：

以後、越部禪尼といわれ、この地域の優しい人々に支えられて暮らしながら、作歌活動を続け、

北条時頼執権1246＝75歳：
宝治合戦・ ・ 1247＝76歳：後嵯峨院十首歌合・同院御百首に詠進。
・ ・ ・ ・ ・ 1248＝77歳：家良撰進「万代和歌集」に入集。十首歌合でも、なおお力量を見せ、
引付衆始・ ・ 1249＝78歳：光俊撰現存和歌六帖に入集。阿弥陀四十八願を歌に詠み、
・ ・ ・ ・ ・ 1250＝79歳：秋風集に入り、夜影歌合に出詠。
・ ・ ・ ・ ・ 1251＝80歳：十三夜影供歌合。定家の子為家撰「続後撰和歌集」を贈られて喜び、所蔵の三選集を論じた「越部禪尼消息」を書き送る。

皇族将軍始・1252＝81歳：
日蓮宗始・ ・ 1253＝82歳：この頃、没した。
生涯の作歌690余首、「新古今集」以下に116首入集。

青木和泉「俊成卿女」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「王朝の歌人たち・中世の歌人たち」，「日本の女性」，